

# 掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html) をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元のHPなどでご確認ください。

## 公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 2022年度研究助成等募集要項

対象となる研究：ひま種子、ひまし油、ひまし油誘導体（リシノール酸、セバシン酸、ウンデンレン酸、2-オクタノール、12-ヒドロキシステアリン酸等）に関する次の研究、(1) ひまし油・ひまし油誘導体の精密化学変換に関する研究、(2) ひまし油・ひまし油誘導体を利用する機能材料および生物活性物質に関する研究、(3) ひま種子の増産に資する育種および栽培技術に関する研究、(4) 上記以外のひまし油関連産業の発展に資する基礎・応用研究。応募資格：大学・公的研究機関等の営利を目的としない研究機関に所属する研究者・研究グループ。助成件数と金額：1件100万円以内、1~2件程度採用予定。助成金の使途：機材費、試薬、消耗品、謝金等研究推進に必要な経費に充当。募集期間：2021年11月15日(月)~2022年1月14日(金)当日消印有効。募集の詳細および申請書等は三井住友信託銀行HP (<https://www.smtb.jp/personal/entrustment/public/example/list>) 参照。申請書の提出先・照会先：105-8574 東京都港区芝3-33-1 三井住友信託銀行 個人資産受託業務部 公益信託グループ 公益信託伊藤徳三ひまし研究基金 申請口 電話(03)5232-8910(受付：平日9時~17時) FAX(03)5232-8919

## [JST/JICA] 地球規模課題対応 国際科学技術協力プログラム (SATREPS) 令和4年度 研究提案募集開始

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)は、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)において、令和4年度の研究提案を募集しています。本プログラムは、科学技術と外交を連携し、相互に発展させる「科学技術外交」の強化の一環として、文部科学省・外務省の支援のもと、JSTと国際協力機構(JICA)が連携して実施するものです。募集期間：令和3年9月7日(火)~11月8日(月)12時。詳細情報：HP (<https://www.jst.go.jp/global/koubou.html>) 参照。[公募概要(予定)] 応募要件：日本国内の大学や研究機関、企業などに所属して、国際共同研究の研究代表者としての責務を果たし、全期間において国際共同研究に従事できること。その他、公募要領に記載の責務等をご理解の上、応募して下さい。対象分野：環境・エネルギー/生物資源/防災。研究期間：3~5年間。予算規模：1課題あたり、1億円程度/年(内訳) JST：委託研究経費3,500万円程度/年、JICA：ODA技術協力経費6,000万円程度/年。問合先：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)国際部 SATREPSグループ 公募担当：柳井、猿渡 電話(03)5214-8085 E-mail: [global@jst.go.jp](mailto:global@jst.go.jp)

## 公益財団法人藤森科学技術振興財団 2022年度研究助成対象募集の お知らせ

藤森科学技術振興財団では、「より快適な社会の実現」に向けて社会の重要課題の解決に指針を与えるような先見的、創造的な機能創造につながる科学技術研究へ助成を行います。2022年度研究助成を募集中です。詳細は下記HPをご参照下さい。募集テーマ：下記HP「研究助成」を確認下さい。助成額：1件100万円、12件を予定。応募方法：所定の申請書に必要事項記載の上、郵送または宅急便。募集期間：2021年11月1日(月)~12月31日(金)迄(当日消印有効) 連絡先：112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー 22階 公益財団法人藤森科学技術振興財団事務局 松原文男 電話(03)5804-4240 E-mail: [fujimorizaidan@fujimori-f.or.jp](mailto:fujimorizaidan@fujimori-f.or.jp) <https://www.fujimori-f.or.jp>

## (公財)東京応化科学技術振興財団 2022年度「研究費の助成」の募集

東京応化科学技術振興財団では2022年度「研究費の助成」の募集を行います。応募にあたっては学会の推薦が必要です。助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究。助成額：1件100万円まで。候補者推薦枠：3件。応募方法：所定の申請書に必要事項を記載し、日本化学会に2021年11月26日(金)までに必着のこと。日本化学会にて推薦のための選考が行われます。送付先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 (公社)日本化学会総務部他機関賞担当宛。応募要領および申請書は財団HPから入手可能です。なお、募集内容等の問合せは、東京応化科学技術振興財団事務局へE-mailで直接行うこと。問合先：電話/FAX(044)435-3116 E-mail: [tok-foundation@tok.co.jp](mailto:tok-foundation@tok.co.jp)

## (公財)東京応化科学技術振興財団 2022年度「国際交流助成」の募集

東京応化科学技術振興財団では2022年度「国際交流助成」の募集を行います。応募にあたっては学会の推薦が必要です。助成対象：化学の領域における基礎研究または応用研究に関する国際研究交流に期待されるところの、A；海外における国際研究会への出席、またはB；国

内で行われる国際研究会の開催、またはC；国外で行われる国際研究会の開催。助成額：A；30万円まで、BおよびC；50万円まで。応募方法：所定の申請書に必要事項を記載し、日本化学会に2021年11月26日(金)までに必着のこと。日本化学会にて推薦のための選考が行われます。候補者推薦枠：1件。送付先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 (公社)日本化学会総務部他機関賞担当宛。応募要領および申請書は財団HPから入手可能です。なお、募集内容等の問合せは、東京応化科学技術振興財団事務局へE-mailで直接行うこと。問合先：電話/FAX(044)435-3116 E-mail: [tok-foundation@tok.co.jp](mailto:tok-foundation@tok.co.jp)

## ガラス産業連合会および ニューガラスフォーラム共催 ガラス研究振興プログラムの (助成制度)のご案内

主催団体：ガラス産業連合会(GIC)および(一社)ニューガラスフォーラム。応募期間：9月~12月28日(火)。概要：ガラスの基礎科学の研究振興を目的に、日本の大学および研究機関にお勤めの45歳以下の若手研究者を対象に、研究テーマを募集いたします。募集するガラス研究領域：基礎科学、製造技術、環境対応技術、評価技術など。研究期間：2022年4月より3年間。助成額：最大900万円/期間。件数：1ないし2件。申請方法：HP (<https://www.newglass.jp/kenkyu/>) をご覧の上、申請書をダウンロードいただき、記入後、問合先までE-mailで送信下さい。

## ムーンショット型研究開発事業 数理科学提案の募集

JSTムーンショット型研究開発事業では、人々を魅了する野心的な目標(ムーンショット目標)の実現に向けて、挑戦的な研究開発を推進しています。今回、数理科学に関する取り組みの一環として、研究開発プロジェクトにおいて数理科学的アプローチを用いた研究開発課題およびその実施を担う研究者を募集します。詳細は下記HPをご参照下さい。募集期間：令和3年9月21日(火)~11月30日(火)。連絡先：JST 挑戦的研究開発プログラム部 E-mail: [moonshot-koubou@jst.go.jp](mailto:moonshot-koubou@jst.go.jp) <https://www.jst.go.jp/moonshot/koubou/202109/index.html>

## “掲示板”欄への掲載申込について

### ①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、原則として本会会員に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 同一原稿の掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

### ②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。  
<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

### ③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

### ④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

#### ②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

#### 【使用できない文字例】

- ・半角カナ；アｶｶﾝ、記号（約物）；、。（・/ 等
  - ・ローマ数字；I II III IV、丸数字；①②③④
- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避けして下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で

代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+} \rightarrow P$  <SUP> 2 + </SUP>

・下付； $CO_2 \rightarrow CO$  <SUB> 2 </SUB>

・イタリック；*italic* → <I> italic </I>

- ③ 原稿の作成が完了しましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認ください。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

- ④ 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認ください。

- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

### ⑥送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 原稿締切日（当月25日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。

- ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

### ⑦問合せ先

#### 【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局

E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

#### 【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話 (03) 5843-3580 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp